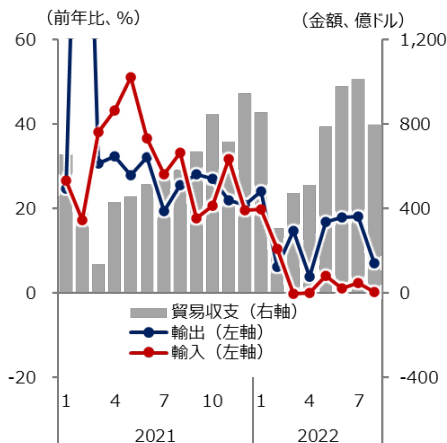


中国

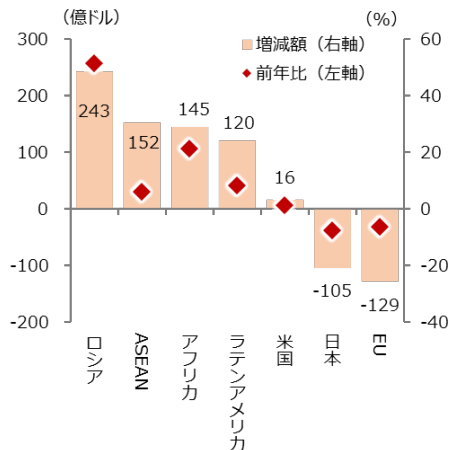
貿易統計 (2022年8月)
中国の高水準の貿易黒字の行方は？

1 輸出・輸入・貿易収支



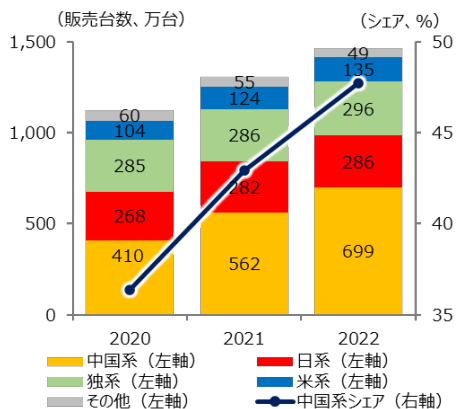
注：直近は、22年8月。
出所：CEICより三菱総合研究所作成

2 主要国・地域との輸入



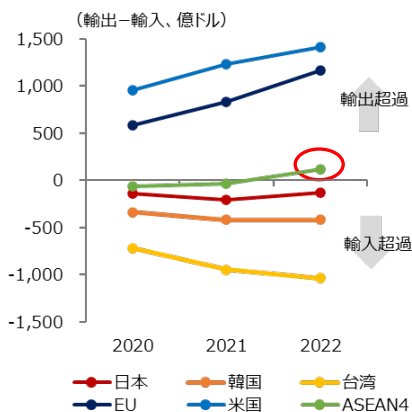
注：22年1-8月と21年1-8月の輸入額の比較。
出所：CEICより三菱総合研究所作成

3 ブランド別自動車販売



注：各年の1-8月の販売台数。
出所：Windより三菱総合研究所作成

4 機械・電気機器等の貿易推移 (主要国・地域別)



注：2020~2022各年の1-8月の輸出から輸入を差し引いた金額。
ASEAN4は、インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ。
出所：CEICより三菱総合研究所作成

評価ポイント

今回の結果

- 中国の8月の貿易統計 (ドル建て) は、輸出が前年同月比+7.1%と4カ月ぶりの桁台の増加にとどまったが、輸入が同+0.3%と停滞したことから、貿易黒字は同+36.1%の794億ドルと高水準を維持した (図表1)。
- エネルギー・食料価格上昇を受け、ロシアを始め、新興国地域からの輸入が前年比でプラスとなる一方、工業品が主体の日本、EUからの輸入は前年比マイナスに陥っている (図表2)。ゼロコロナ政策による消費伸び悩みが、生活必需品以外の工業製品の輸入の停滞をもたらしているとみられる。

今後の注目点

- 中国政府は、10月開催予定の中国共産党大会までは、ゼロコロナ政策を継続することが見込まれる。消費回復によって工業製品の輸入増加が本格化するのには2023年以降と見込まれ、年内は高水準の貿易黒字が続くであろう。
- 長期的な中国の貿易収支の趨勢を見極める上では、①脱炭素や②経済安全保障を展望したサプライチェーン再構築の影響の有無に留意が必要だ。
- ①に関して、中国系ブランドの自動車販売シェア (1-8月) は50%に迫り、販売台数は日本・独ブランド合計を上回る700万台近くに増加している (図表3)。中国系ブランドのEV車のシェア拡大が続けば、ガソリン車や自動車部品などの輸入減少要因となる。
- ②に関して、機械・電気機器等の欧米向け輸出と韓国・台湾からの輸入が同時に拡大しており、韓・台から中間財を輸入し中国で完成品に仕上げる構造は継続している。ただし、ASEAN4向けの輸出超過への転換は、経済安全保障の規制強化を展望したASEAN移管の兆候として注意が必要だ (図表4)。
- 中国の貿易収支の先行きを展望する上では、短期的にゼロコロナ政策の国内消費への影響、欧米の経済状況の輸出への影響を注視するとともに、中長期的にはEV車などの内製化に伴う輸入減少、欧米向け輸出規制回避のための周縁国向け輸出拡大といった産業・貿易構造の変化の見極めが求められる。